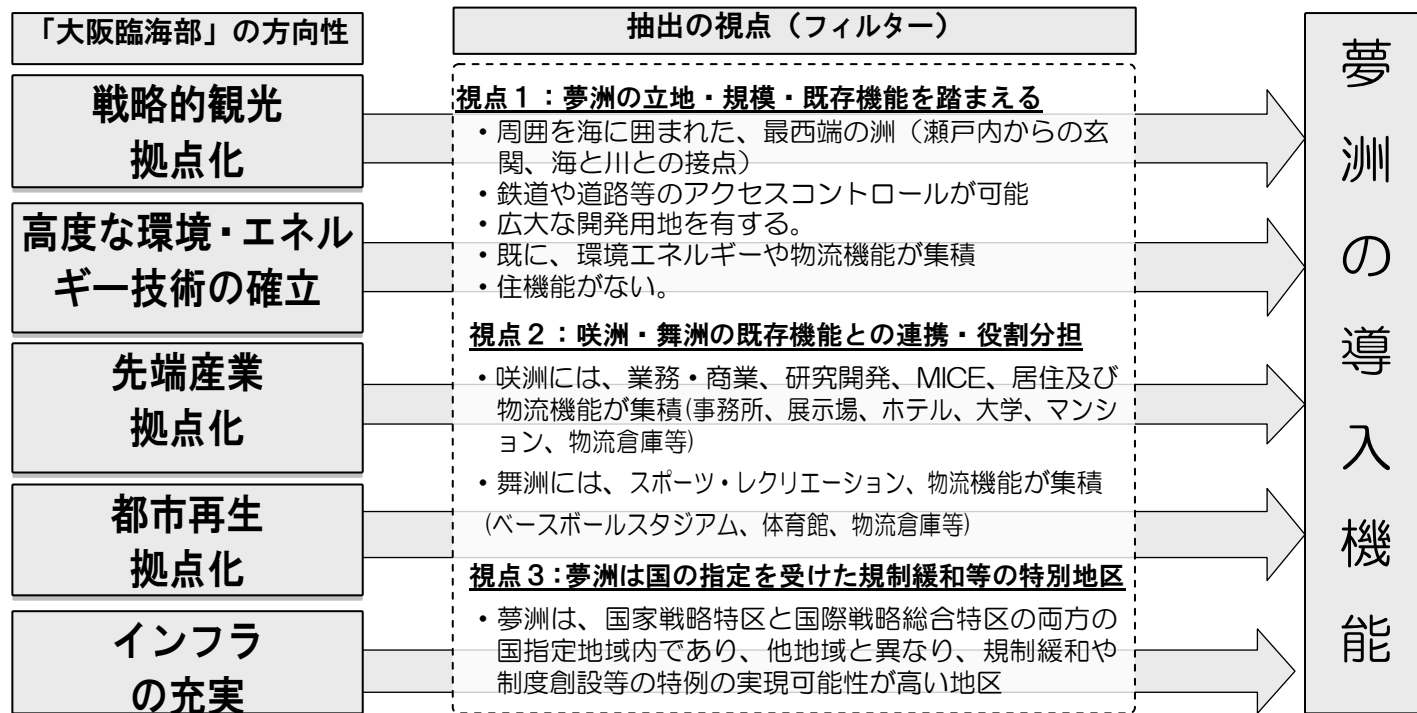


3. 夢洲への導入機能

(1) 夢洲の視点



(2) 夢洲への導入機能

新たな観光拠点の形成	①国際的エンターテインメント・芸術・文化機能 広大な敷地や水辺空間や瀬戸内・大阪・関西の文化の結節点としての立地性を活かし、国際的なエンターテインメントや和を重視した芸術・文化機能の集積を図る	②世界第一級のMICE機能 大規模なMICE関連施設を一体的に整備・運営し、新たな需要取込みを図る（アジアの主な展示会場面積約8~20ha）
	③ニューツーリズム機能 医療産業ツーリズム等、新たな観光を促進する機能の導入を図る	④観光情報発信機能 関西観光の総合案内機能（ハブ機能）、日本文化の発信・体験機能の導入を図る
	⑤観光人材育成機能 エンタメやMICE関連に従事する人材の育成・実習機能の集積を図る	
	①持続可能システム 低炭素化に資する循環型で持続可能な先端技術やエネルギー・交通システムの積極的導入を図る	②安全・安心システム 自立分散型エネルギーネットワークの構築や情報セキュリティの徹底等、レジリエンス（回復力）を有する災害等に強いシステムの導入を図る
	③情報分析・発信システム 最先端技術の導入による環境エネルギーシステムの見える化・見える化と情報発信を図る	
産業・物流拠点化	①環境・エネルギー等の先端産業の集積 省エネ（コージェネ等）や、新工に関連する技術展開や関連産業の集積を推進する	②国際物流機能 国際戦略港湾の中核を担うコンテナターミナルや物流機能の強化を図る
	①都市再生貢献機能（都市再生用地） 時代の要請に応じて、大阪臨海部での柔軟な産業展開が図れるよう、リザーブ用地として都市再生用地を確保する 面的整備等による機能更新が難しい既成市街地の課題解決のため、都市機能の組みかえに資する用地を確保する	
インフラ機能の拡充	①鉄道インフラ 都心部、及び、関西の各拠点と夢洲とをネットワークする鉄道インフラの導入を図る	②客船ターミナル機能 観光拠点形成によりクルーズ客船の寄港が将来的に大幅に増加した場合、臨海部全体の客船ターミナル機能の強化を図る

<官民による新しい機能導入に向けた取組>

- ・新たな機能導入促進に繋がる規制緩和等要望の実現に官民一体で取り組む
- ・広大な土地を有効かつ早期利用するため、埋立・建設工事の創意工夫

4. 大阪臨海部の再生による波及効果

(1) 大阪・関西・西日本への貢献

1) 大阪：『都心と臨海部の連携強化による国際競争力の向上』

- 【観光】 臨海部：国際的な大規模エンタメ機能 ← 連携 → 都心部：大阪“らしい”エンタメ機能（ミナミなど）
 大規模 MICE、スポーツ、アート 都市型 MICE、歴史・文化（大阪城・中之島など）
- 【環境】 臨海部：低炭素化技術等のショーケース ← 連携 → 都心部：環境配慮型建築物の誘導
- 【産業】 臨海部：知の実践と発信拠点 ← 連携 → 都心部：知の集積拠点（うめきたナレッジキャピタルなど）
 国際的な先端産業機能の集積 国際的なビジネス機能集積（中之島・御堂筋など）
- 【都市再生】 臨海部：都市機能の組み換え用地確保 ← 連携 → 都心部：面的整備等による都市機能の更新
- 【インフラ】 臨海部：鉄道・舟運の充実、物流 ← 連携 → 都心部：鉄道・舟運の充実

2) 関西：『臨海部が京阪神の中核として関西の活力を牽引』

- 【観光】 関西の魅力の発信や、関西観光に“厚み”をもたせる（歴史だけでなく）新たな観光拠点としての役割を担う
- 【産業】 国際戦略総合特区及び国家戦略特区の中核として、京都・神戸とともに、環境・エネルギー分野等、関西の成長に資する幅広い分野でのイノベーションを創出。
- 【インフラ】 関西のゲートウェイ機能を活用し、アジア等における新たなイノベーション創出の下支えの基盤強化を図る。



3) 西日本：『臨海部が関西と瀬戸内をつなぎ、相乗効果を誘発』

- 【観光】 瀬戸内ブランドの確立に向け、瀬戸内を共する7県にて構成した組織と協力し、西日本の魅力発信・向上を図ることで、観光産業の相乗効果を誘発させる。（例：瀬戸内国際芸術祭との連携等）

